

社会福祉法人 唐橋福祉会 発行

編集兼発行人 理事長 下村 勉

したじ

下地調査から「下地補修」工事へ いよいよ工事は本格化 園舎リニューアルへ高まる期待

「20周年・秋の大工事」は9月19日の着工から早や2週間。この間にまず園舎ほぼ全体の周囲に足場を組む準備工事が行われた。9月28日からは、この足場を利用して補修が必要な個所の洗い出し作業が3日間かけて行われた。その結果、コンクリートのひび割れが発生している個所がのべ300mあるほか、壁に欠損個所が約80ヶ所発見された。10月2日からはこれらの補修を要する個所の「下地補修」が行われる。下地をしっかりと補修したうえで塗装の塗り替えなどを行うことになる。こうして、工事はいよいよ本格段階へと入った。

すでに、壁や屋根などを塗り替える新しい色の検討も始まっており、園舎全体のリニューアルへ向けて、期待が日ごとに高まっていくことになる。

コロナ救援募金に35万円

8月から呼びかけてきた「コロナ救援募金」には、当園関係の保護者、職員、支援者から、合計35万円が寄せられた。寄付者の意向に沿って寄付先が次の通り決定し、送金された。

- | | |
|--------------------------|------|
| ① 「滋賀の子どもたちのための救援募金」 | 22万円 |
| ② 「滋賀の外国人学校を支援する募金」 | 6万円 |
| ③ 「ピースボート（平和の船）再開のための募金」 | 7万円 |

①の募金を推進する県社協は7000万円を目標に取り組んでおり、すでに県内の4000世帯の子どもたちに支援金を届けているが、上記の目標には遠く及ばない状況。今後もクラウドファンディングなどで募金活動を続けるという。詳しくは、「滋賀県社会福祉協議会」のHPで。

ご提供ください。古タオルと「からすうり」

① 古タオル、古バスタオルを寄付して下さい。

この冬はコロナとインフルエンザの同時流行が懸念されています。

嘔吐などの処理に、切って使い捨てします。古いものを一度洗濯して提供して下さい。

② 初代園長の保育実践集「からすうりの熟れる頃」をお寄せください。

この本は、3版にわたり合計5111部発行しましたが、残り5部となりました。以前は来園者などにもれなく贈呈していましたが、今は貸し出し制にしています。2部お持ちの方、譲ってもよい方があればご提供ください。また、貸し出しをご希望の方もお申し出ください。